

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

チェールアルコの家

グループの名称

チェールアルコの家研究会

直近採択グループ番号

04-0034-0058

(グループ代表者)

代表者名

照井 正樹

代表者印

代表者所属先

藤正建設株式会社

代表者所在地

岩手県花巻市桜木町2丁目164番地

代表者電話番号

0198-24-5115

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社嶋勘商店

事務局担当者名

菅原 潤

印

事務局郵便番号

025-0094

事務局所在地

岩手県花巻市桜木町2丁目10番地1

事務局電話番号

0198-23-3131

事務局FAX

0198-23-3135

事務局担当者E-mail

shimakan@bridge.ocn.ne.jp



B. 平成29年度における補助対象の木造住宅の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		3	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		0	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸					
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	1	戸					
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		3	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	2	戸						
	申請が未確定(上限150万円)		3	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	3	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	2	戸						
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		0	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸						
	申請が未確定(上限165万円)		2	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸						
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	1	戸						
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m <sup>2</sup>							
		申請が未確定	棟							
			m <sup>2</sup>							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	交付申請順位を優先に各住宅事業者に戸数を配分します									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	5	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
	補正予算	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
当初予算	採択床面積	0	m <sup>2</sup>	交付申請床面積	0	m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) チュールアルコの家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) チュールアルコの家研究会	(結成年) 1988年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0034-0058	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○東日本大震災復興住宅再建が大分進みました。東日本大震災の教訓を生かした新築住宅を供給するため大地震に耐えうる耐震性と、高齢者にも優しいヒートショックにも考慮した断熱性能を保持する	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○岩手地域積雪対策として通し柱を120×120を使用し耐力面材の活用を推奨する ○寒冷対策として断熱性能等級4を目標とする	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○県内全域豪雪地帯の為、屋根形状は大屋根を推奨する。施主様が和風造りを希望する場合は、そのがぎりではない ○耐震性雪害の観点から屋根葺き材は金属屋根とする	◎
④①～③の背景	○岩手県内東日本大震災そして幾度の震災に遭遇し、尊い命が失われている ○岩手県内全域豪雪地帯に指定されています。特に岩手県西部・八幡平市(一部地域を除く)西和賀町は特別豪雪地帯に指定されている	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○被災地に対象住宅を建設した場合、①～③を重視した内覧会を開催する	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a. ①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○在来工法については、土台・柱・桁・梁主要構造材については寸法105×105以上、母屋材については90×90以上、通し柱については寸法120×120以上を使用する ○野垂木の寸法45×55以上(特別豪雪地帯は45×90以上を使用する)	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○床板フローアールについては、商品を限定し大量仕入れを実施し価格を安定させている	○
①-3 標準仕様の設定	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○在来工法・枠組み壁工法共標準仕様を設定し価格の安定を図る	○
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○注文材以外はまとめ買いを実施しコストを下げることに努力しております	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○木材・建材仕入発注作業は役割を決め事務の流れを円滑にするよう努めています	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○事務局と建材流通が提携できるよう検討委員会の設置を検討する	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○情報共有の為施工に際しては各構成員と合理化に向けヒアリングを実施 ○実施については事務局も協力する	○
b. ① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○各メーカー等の省エネ講習会に参加させました ○省エネルギー技術講習会施工テキストによる内容に基づく	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ○地盤調査に基づいた設計・施工	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○施主様へのお見積り提出は一種類ではなく複数の見積もりを作成、選択肢の幅を広げる	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○対象物件については工務店と協力し内覧会を開催、GRN化事業が一般ユーザーも気軽に理解出来るカリキュラムにする	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○地域材には構造材・羽柄材に関わらずなるべく岩手県産材を使用する	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) チュールアルコの家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) チュールアルコの家研究会	(結成年) 1988 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0034-0058	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	○「いえるて」住宅履歴情報に認定された情報は、履歴情報機関への登録を必須とし、定期点検の際はチェックリストの活用を推奨する	
①	住宅履歴情報の蓄積	○
①-1	内容・蓄積の共通ルール ■ ない □ ある → 内容: ○工務店独自の履歴が難しい場合、住宅履歴サービス機関を活用する	○
①-2	情報サービス機関の活用 □ ない ■ ある → 内容: ○建材取引メーカー(住宅履歴図書館)に保存蓄積する	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 ■ ない □ ある → 内容: ○登録時に発行される登録証で確認する	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール ■ ない □ ある → 内容: ○グループ共通点検チェックリスト作成実施	○
②-2	補修の共通ルール □ ない ■ ある → 内容: ○大規模な自然災害時には、緊急点検必要に応じて補修	○
②-3	点検補修実施の確認手法 □ ない ■ ある → 内容: ○維持保全チェックリストを管理者が確認保管	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 □ ない ■ ある → 内容: ○グループ採択報告会の中で、講師を招き近未来必要とされるゼロ・エネ住宅勉強会を開催	◎
③-2	DIY体験会等の実施 ■ ない □ ある → 内容: ○グループで企画を検討する	○
③-3	その他の相談会等の実施 □ ない ■ ある → 内容: ○工務店完成見学会の中で、トピックスとして一般のお客様相談会を実施	○
④	維持管理委員会等の設置 ■ ない □ ある → 内容: ○事務局で構成員と相談の上、設置するかを決定する	○
⑤	その他の維持管理の手法 ■ ない □ ある → 内容: ○瑕疵保険以外に保険会社が提携する延長保険サービスを提案する	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール ■ ない □ ある → 内容: ○倒産・廃業による施工・維持管理ができない場合は、グループ構成員で話し合い協力してくれる施工業者を紹介する	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 ■ ない □ ある → 内容: ○瑕疵保険会社に講師の依頼をお願いする	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○
○今後ストック型社会に対応するため、住宅履歴の蓄積管理を見直し、エンドユーザーとの将来における関係造りに取り組む		

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 □ ない ■ ある → 内容: ○長期優良住宅経験者がいる構成員には、未経験者と現場を共にし技能の習得に協力する	◎
②-1	品質管理のための共通ルール ■ ない □ ある → 内容: ○流通事業者が中心となり品質管理表の作成に事務局が協力する	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 ■ ない □ ある → 内容: ○事務局でチェックリストを作成し定期的に管理する	○
③-1	需給計画の策定 □ ない ■ ある → 内容: ○実績の乏しい為総合的な計画立案が難しい	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 ■ ない □ ある → 内容: ○長期優良住宅経験者は、グループ内で経験工務店現場に人員配置し技術習得に協力	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 ■ ない □ ある → 内容: ○設計構成員は、外皮計算・一次エネルギー計算他習得、施工構成員を支援する	○
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 14 今年度の参加目標人数 3 ○ほぼ受講済ですが社員全員受講を希望します	○
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 3 ○技術講習会の内容についてはFAX等で構成員に周知	○
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 □ ない ■ ある → 内容: ○担当営業・事務局が協力内容を把握し構成員に情報提供する	◎
c	① 新たな技術等の導入 □ ない ■ ある → 内容: ○省エネ機器・新技術等の情報はメーカーを招き講習会を開く	○
②	新たな技術等の開発 ■ ない □ ある → 内容: ○新技術の開発はしていません	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎
○長期優良・低炭素・ゼロ・エネ住宅等の性能審査及び手続について、慣れない事業者は、第三者のサポートセンターに依頼し、スムーズな申請手続きにて性能評価機関へ適合証の発行を依頼する		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) チェールアルコの家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) チェールアルコの家研究会	(結成年) 1988年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0034-0058	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

○認定低炭素住宅

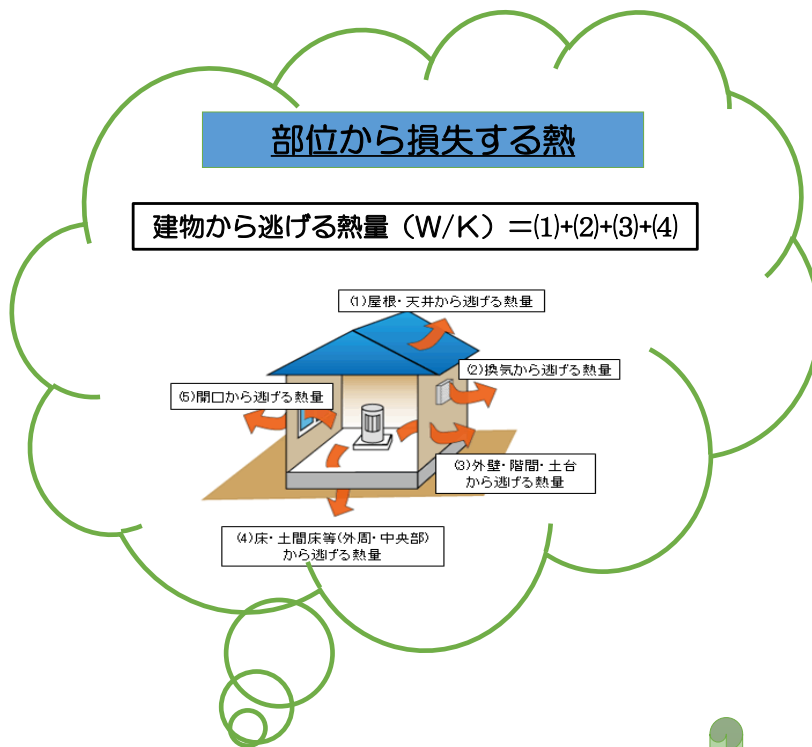
1. サッシはLowE以上の性能を有する製品を使用する
2. 床断熱材はフェノールフォームを推奨する
3. 給湯設備は、エコジョーズ・エコフィール・エコ給湯の何れかを採用する

○性能向上計画認定住宅

1. 認定基準に基づき断熱性能を向上する
2. 以上統一した仕様書を作成しそれに基づいて施工する

○ゼロ・エネ

1. ZEHの定義に基づき外皮性能を最優先として、一次エネルギーを削減して設備機器のコスト高を抑える
2. 消費したエネルギーと同等のエネルギーを造り出す
3. 建物から逃げる熱量をなるべく小さく抑える
4. BELSの取得を必須とする



「チェールアルコの家研究会」は  
熱が逃げにくい住んで安心  
高性能住宅をご提案します！